松川ダムについて紹介します！

松川ダムとは？

松川ダムは、飯田市上飯田
一級河川 松川に建設された
重力式コンクリートダムです。

松川ダムが有する様々な機能、全国でも珍しい
ダムのバイパス事業について、紹介します。

飯田建設事務所
キャラクター
「ほるとんくん」

松川ダムの歴史

松川流域は治水・利水の両点から多くの問題を抱えていました。

治水上の問題

松川流域の地質は、崩壊性に富んでいる岩石を主体として構成されており、飯田松川下流流域一帯は、出水のたびに、流出土砂によって甚大な被害にあっていました。

昭和36年6月28日新飯田橋（36災）

利水上の問題

産業文明の発展に伴い、水道用水の需要が増加し、かんがいをしている田畑1,000ヘクタールは、干ばつ時に用水不足に悩まされていました。

松川ダムは治水・利水上の問題を解決するために、昭和44年12月から建設に着工し、昭和50年３月に竣工しました。

松川ダムは令和７年度で50年！

長野県PRキャラクター『アルクマ』
©長野県アルクマ

松川ダムの機能

松川ダムは治水・利水等複数の機能を兼備した多目的ダムです。松川ダムには、主に次の４つの機能があります。

飯田建設事務所
キャラクター
「ほるとんくん」

①洪水調節

ダムの上流から流れてくる水の量を調節し、下流へ流す水量を減らして、下流地域の災害を防止します。

出典：大分河川国道事務所
http://www.qsr.mlit.go.jp/oitagawa/shiru/more_shiru/dam_yakuwari/kozuichosetsu.html

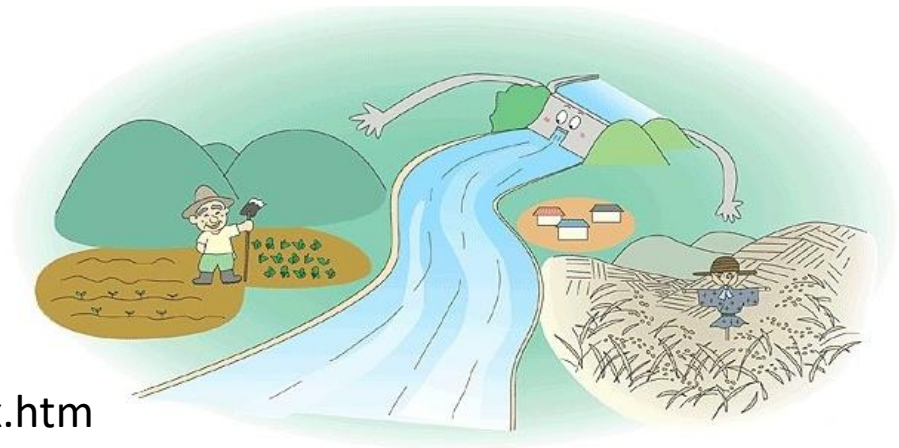
②水道用水

産業の発展、人口の増加、文化の向上による飯田市近郊の上水道用水の需要の増加に備えるとともに、渇水期において飯田市上水道の原水として、最大取水量30,000㎥/日を供給します。

松川ダムの機能

③既得取水の安定化

用水不足による干ばつに悩まされてきた農家が安心して耕作にはげめるように、田畑1,000ヘクタールへ渇水期の用水補給をしようとするものです。



出典：鳥取河川国道事務所
https://www.cgr.mlit.go.jp/haji/dam/part/irrigation/index.htm

④発電

貯めた水を高い位置から落とす勢いを利用して、電気を作ります。
発電した電力は長野県企業局で売電等を行い、長野県の活動を支えています。

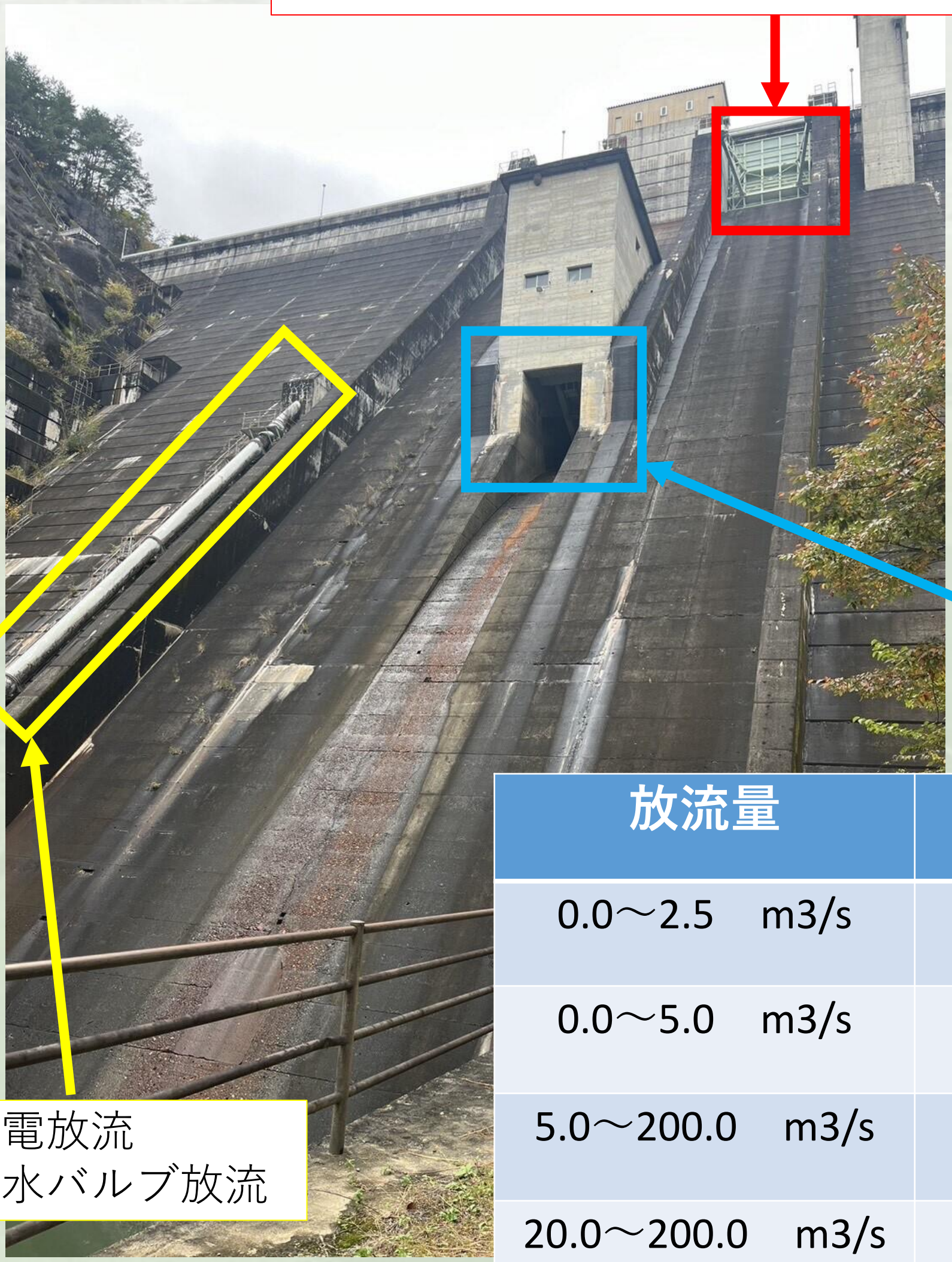
松川ダムではこれらの役割を果たすため、適切に維持管理を行っております。
次に、松川ダムで行っている放流について、紹介します。

長野県PRキャラクター『アルクマ』
©長野県アルクマ

ダムの放流について

・洪水調節、発電、農業用水　など
適切な放流により様々な用途に分け水量を調節しています。

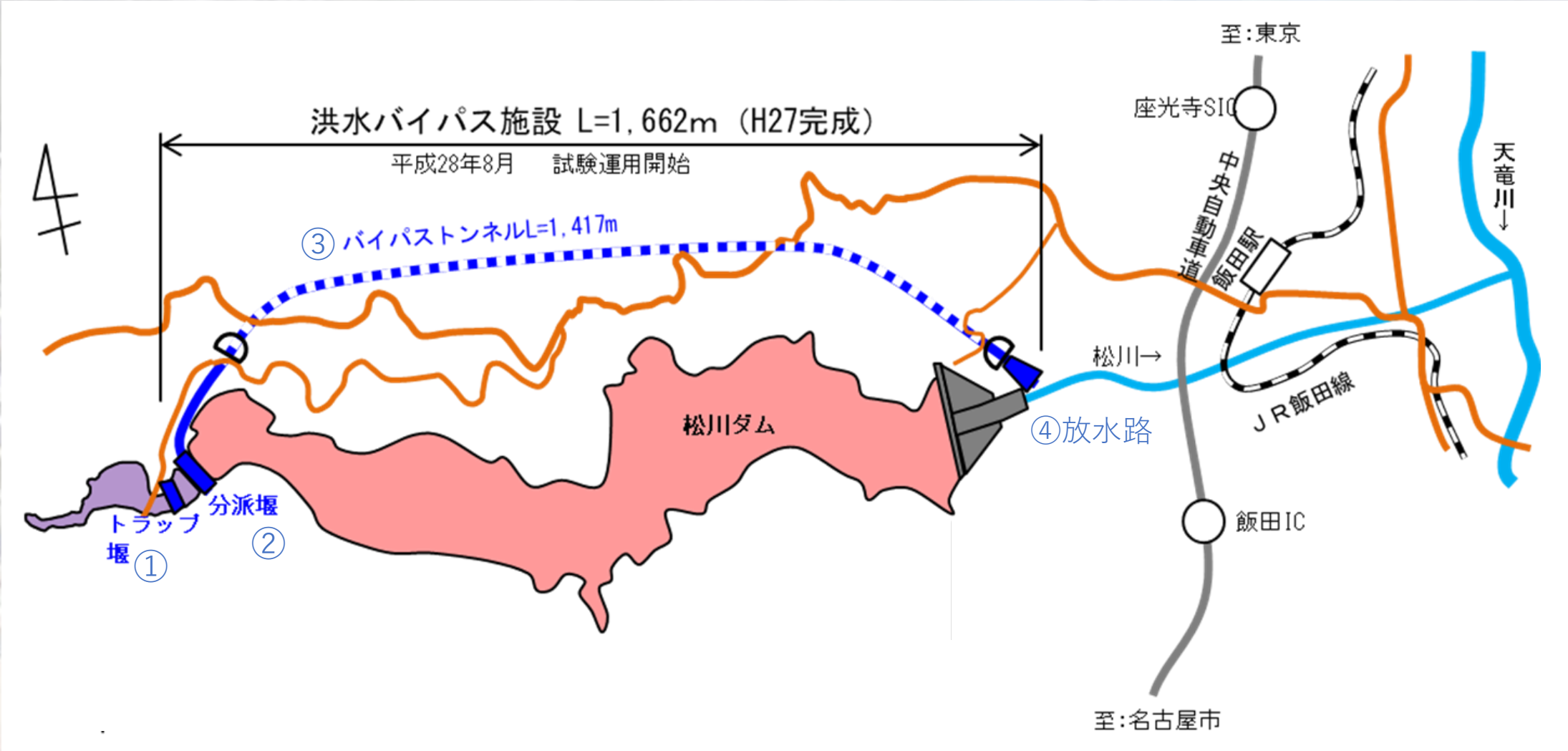
クレストゲート
　ダムの貯水量が限界まで貯まったときに解放されるゲートです。まだ一度も使われたことはありません。



放流量	放流
0.0～2.5　m3/s	発電放流
0.0～5.0　m3/s	利水バルブ放流
5.0～200.0　m3/s	主ゲート放流
20.0～200.0　m3/s	バイパス放流
200.0～　m3/s	クレストゲート放流

バイパス設備について

流入量20m3/sに達し、さらに降雨が予想される場合、バイパス放流への切り替えを行っています（H28年からR5年までの間、29回実施）



トラップ堰（ぜき）・分派堰（ぶんぱぜき）・バイパス水路で粗い土砂を捕捉
→ 細粒分のみを洪水とともに下流へ排出

バイパス放流について

バイパス放流を行う場合、
上流で降った雨がそのまま
下流へ流れます。
河川の増水の危険がありま
すので、河川の付近には立
ち入らないよう、お願いし
ます。
皆さまのご理解、ご協力
よろしくお願いします。

長野県PRキャラクター『アルクマ』
©長野県アルクマ

松川ダムの事業紹介は以上になります。
他にも魅力的な取り組みを松川ダムでは多く行っています。
松川ダムのホームページやＸ（旧Twitter）でも発信を行っていますので、ぜひご覧ください。

ホームページ　：https://www.pref.nagano.lg.jp/matsukawadamu/index.html
Ｘ（旧Twitter）：https://x.com/Matsukawadam